

地域住民参加による災害リスクの低減

キルギス I

キルギス共和国では国土全域で様々な自然災害が潜在的に進行しており、また地方部が貧しいこともあって、自然災害の脅威は極めて深刻です。たとえば、MSK-64 震度階級でマグニチュード 8～9 クラスの地震活動が観測されるなど、国内では地震活動が絶えず継続しています。年間の地震発生件数は 3000 件にもものぼり、そのうち 10～15 件が被害をもたらしています。

またキルギスタンでは、国内のいたるところで泥流と洪水の被害が生じており、3103 本の河川で泥流の発生が危惧されています。程度の差こそあれ、泥流と洪水に悩まされている居住域は 1000 を越え、また国土の 7.5% に当たる 509 の居住域が、大なり小なり地すべりの危険にさらされています。

国内の山岳地帯はいずれも雪崩の被害を受けており、危険地域は主要道路沿いだけでも 772 にのぼります。また地下水面の上昇により、国内 180 以上の居住域で水害の発生が危惧されています。

MES KR によると、災害発生件数は年間およそ 200 件におよび、その数はさらに増えると目されています。年間の被災総額は約 3500 万ドル、被災世帯は約 2000 に達します。

キルギスタンでは 2005 年以降、地域の災害リスク管理能力を強化するために国連開発計画がプロジェクトを進めており、その一環として、住民を危険から守り、地域社会をはじめとする関係者間で協力し合うことを目指す防災プロジェクトを実現しています。



防災プロジェクト実施前



防災プロジェクト開始時

地域社会との協力による防災プロジェクトの実現により、以下の成果が達成されました。

- 地域住民を対象に、防災プロジェクトを策定し実施するためのトレーニングを実施。
- 地域住民の参加による防災活動を推進。
- 防災活動を実施するために、地域住民の資金（出資金）調達力を開発。
- 地域で建設し、修理した設備を地域自らが管理し、継続して運用するための能力を向上。



防災プロジェクト実施中



防災プロジェクト完了時

— 背 景

キルギスタンは自然災害の大きな危険性にさらされており、とくに貧しい地方部の状況は深刻である。国の法律には、地方の財源に防災予算を盛り込むとは定められていない。

— 目 的

とくに被災しやすい地域の災害リスク管理能力を強化する。

— 期 間

2005 年から現在まで

— 対 策

一部の地域で試験的に以下の活動を実施。災害リスク管理者の資質および能力の強化。ボランティアから成る地方レスキュー隊の設置および装備の充実化。危険評価、災害リスクマップの作成。地域を災害から守るための防災プロジェクトの実施。

— 主な成果

3 万人以上が災害への備えと災害発生時の対応のトレーニングを受講。また 29 件の防災プロジェクトが実施された。その結果、784 の家屋、4 つの学校、1178 ヘクタールの耕作地に防災措置が講じられた。

— 総 予 算

データなし

— 問い合わせ先

ma@dm.undp.kg, ok@dm.undp.kg, osh@dm.undp.kg